

岡山医療センター

【施設概要】

当院は昭和 20 年に陸軍病院から引き継ぎ、国立岡山病院として発足しました。終戦後一時英連邦軍に接收されましたがその後接收解除され、平成 13 年に現在の場所に移転、平成 16 年に独立行政法人国立病院機構岡山医療センターとして新たにスタートを切りました。



当院は病床数 609 床で地域医療支援病院、地域がん診療拠点病院として指定を受け、特に総合周産期母子医療センターとして周産期医療に力を入れています。平成 3 年には UNICEF より「赤ちゃんに優しい病院」として認定を受けており、周辺地域からの信頼に応えるべく日々奮闘しています。

最近では平成 23 年に地域災害拠点病院、令和元年に原子力災害拠点病院に指定され、地域の拠点病院としても貢献しています。

また平成 24 年 4 月より「岡山市立金川病院」の管理運営を委託され、「国立病院機構岡山市立金川病院」として国立病院機構岡山医療センターの分院化とし、現在技師 1 名を派遣しています。

【周辺概要】

岡山市は、旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置する岡山県の県庁所在地です。また、台風や地震などの自然災害も少なく、非常に恵まれた環境にあります。

全国的には桃太郎伝説や吉備団子が有名です。

また晴れの国岡山と言われるように、温暖な瀬戸内の気候により育まれた白桃、マスカット、ピオーネなど高級フルーツの産地としても有名なところです。

中心部には岡山城や日本三名園の一つである後樂園を擁しており、岡山藩池田



氏の城下町として栄えた江戸時代以来、発展してきた中心部と、郊外には田園や中山間地域が広がっています。

【放射線科】

現在、放射線科は医師 6 名（常勤 4 名）、診療放射線技師（岡山 22 名、金川 1 名）、受付 1 名の体制です。業務は、一般・透視撮影、CT（64、320 列）、MRI(1.5、3T)、血管撮影、核医学、放射線治療があります。

放射線治療部門では外部照射と、ヨードを用いた甲状腺の内用療法を行っています。

手術においても、心臓血管外科領域の大動脈ステント留置術での DSA 撮影、整形外科領域のナビゲーションシステムを用いた脊椎、関節、骨盤手術での CT 画像とのフュージョン等で手術に参加し協力しています。